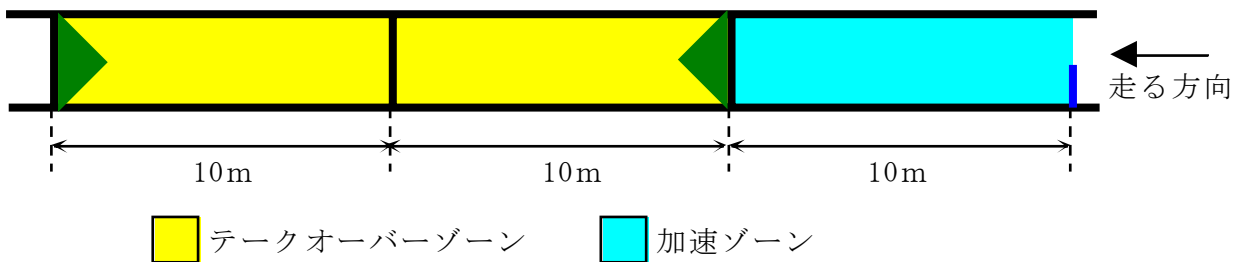





リレー競技について

競技の仕方

- ・4人の走者が、それぞれ同じ距離を走り、次の走者にバトンのパスをして継走し、第1走者のスタートから第4走者のフィニッシュまでのタイムを競う。
- ・走者は手にバトンを持って走らなければならない。もしバトンを落とした時は拾ってから走る。このとき、自分のコースから離れて拾っても良い。拾った後はただちに自分のコースにもどり継続する。ただし、他の競技者を妨害したときは失格となる。
- ・バトンのパスは、テークオーバーゾーンの中でおこなう。これはバトンの位置であって走者の体や車輪の位置ではない。
- ・バトンパスは、バトンを受け取る次の走者がバトンを手で確実につかみ、わたす前走者が手から離れたときにパスしたことになる。
- ・バトンパスは、テークオーバーゾーン内であれば乗車・非乗車どちらの状態で行っても良い。但し、前に進むときは必ず一輪車に乗った状態でなければならない。
- ・4人×200mまでのリレーでは、次の走者はテークオーバーゾーンの手前10m以内のところから助走してもよい。
- ・バトンパスした走者はレーン内にとどまること。



- ・  の間でバトンパスはおこなうこと。
- ・ の手前から走り出してもよい。ただし、10m以内（加速ゾーン）。
- ・次の走者は、加速ゾーン・テークオーバーゾーン内であれば乗車している状態、乗車していない状態のどちらで待っていてもよい。

解説

・このルールは、陸上競技のルールであり、今までの一輪車の「レース部門の規約」に変更はありません。今までの大会で一部の人から、テークオーバーゾーンの手前のラインを目印に次の走者が待っているのは、テークオーバーゾーン以外だから違反ではないかと話がありました。普段ラインを目印にスタートするのでほとんどの人がテークオーバーゾーンの手前で待っていて走り出します。しかし、陸上競技の一般的なルールですので、問題はありませんが、このルールを知らない人が多いようです。また、この他にもこの内容を知らずにトラブルも起きているようです。そこで、今回の規約の改正でこの件について追加しました。それにより新たなルールのようにとらえられて誤解が生じているようです。必ず加速ゾーンから走り出さなければならないのではなく、加速ゾーンを使っても良いということです。



テークオーバーゾーンでしか待つことができないと、a からスタートするコトになります。しかし、多くの方は b からスタートしています。これが違反にならないのは、加速ゾーンからスタートすることができるからです。